

人

二一八 受信一四三一 譯子一五〇六 電〇八六一六

作概〇  
航本

作戰特別緊急

母島警備隊



父島根戰國概報着信艦所

機密第一八一三三五番電

20. 2. 19

敵艦載機ノ來襲頻繁ノ現狀ヨリ見テ敵機動部隊ハ本土侵攻 後避退ノ際  
漸次南方諸島方面ニ其ノ攻撃力ヲ集中敵碯黃島作戰軍ニ協力ヲ企圖シツ  
ツアルモノト想ハル敵編隊ハ概ネ母島ノ三二〇度方向ヨリ來襲シツツア

通九八七四 於一四七一〇二〇〇KGニ父 通

鈴木(増田)

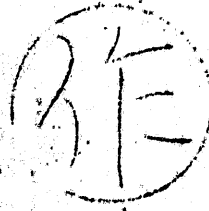
1429

人

二一八 受信一九〇〇 譯始一九三〇 電〇八六九一 參作本

緊 急

總無線所用共通符號



東京通信隊 聯合艦隊司令部 第三航空艦隊司令部

小笠原部隊、硫黃島航空基地

機密第一八一五一五番電

發 南島守備部隊指揮官

着信者 横鎮司令長官

令次長 參謀次長

受報者 厚木航空基地 七濑戰司令部 二十二戰司令部

戰圖概報（二月十八日）

一一一〇 二二〇度五五紆二探知、續イテヨ十二四 三機來襲、高度

1430

通九九六六 呂一〇一〇 横通電報（太）

二〇〇〇米ニテ雲上ヨリ島内ニ投彈

二、被害

二五耗二聯裝機銃一基直撃（修理可能）

戦死 海軍下士官一

重傷 海軍下士官一

三、發射彈數、戦果 ナシ。

二二八

受信一七二五  
譯始一七四五

譯了 一八一五

電電〇〇八八六六九〇

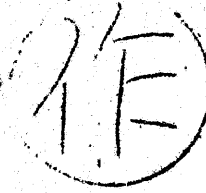
航作機本〇

作戰特別緊急

鹿屋航空基地

第一機動基地航空部隊作戰命令着信鑑所

大村、松山各航空基地



機密第一八一五三一番電 二分ノ一二

一KFGB信電令作第三八號

明一九日敵機動部隊ニ對スル當部隊戦闘機隊ノ邀撃配備ヲ左ノ通豫定

ス

一邀撃帶

(1)七二一部隊。在宮崎兵力。宮崎ヲ中心トスル南北約三〇哩、九洲

東岸線

通九九一七九九一六

呂一五。ラー八(七六〇五)(鹿屋)

(一)

相澤。傳崎(大田)



(ロ) 七二一部隊・在鹿屋兵力・油津ヨリ都井岬ニ至ル九州東岸線  
 (ハ) 二〇三部隊・火崎・大根占ヲ連結スル線

### ニ 邀撃要領

(イ) 約半兵力日出三〇分前發進、上空哨戒高度一〇〇〇乃至三〇〇〇米

(ロ) 約半兵力地上即時待機

### 三 邀撃方針

(イ) 敵第一波ヲ全滅ヒシムルヲ理想トス

(ロ) 第一合戦終了ヒバ一部警戒兵力ヲ殘シ着陸補給ニ要スレバ倭方基地使用ニ第二、第三波ニ備フ

### 四 發令法

本邀撃法ヲ邀撃A法トシ發動ハ特令ス。

停

緊急

二 一八 受信一七〇四 譯始一七四五 譯丁一八二〇 電〇八六七二 航作標本〇

● 松山航空基地

● 鹿屋航空基地

● 三航空艦隊中・吳鎮

機密第一八一五四二番電

發 五 A F 參謀長

宛 三四三空司令

當艦隊戰鬥機隊ノ協力部隊一 K F G B 信電令作第三八號ノ通  
爲シ得レバ貴隊ノ兵力ヲ以テ石垣。高茂崎附近豊後水道ヲ扼スル如  
ク邀撃配備ニ就カレ度。

通九九一三 呂一Bヶ四(七六〇五K) 鹿屋

館川(塙田)

20. 2. 19

二一八 受信一八七四〇〇 譯了一八四八 電〇八六七九 航作機本〇

作戰緊急



東京通信隊 高警第一警報着信機所 海上護衛總部隊各 第一航空艦隊 南西方面艦隊各戸 支那方面第二遣支各艦隊戸 佐鎮 沖繩根戸 臺灣空

機密第一八一六〇五番電

二月十八日〇六三五ヨリ〇七三〇迄ノ間敵哨戒機四隊臺灣南部地區偵察脱去セル所〇九三二ヨリ一四一二迄ノ間賊機約三六〇機(大型二〇〇、小型一六〇)數梯團ニ分レ臺灣南部地區ニ侵入竊襲ヲ實施ノ後脱去ス

攻撃目標ハ飛行場ナリシ如キモ有線不通ノ爲情況詳カナラズ、當地附近ノ攻撃ハ熾烈ナラズ、戦果被害調査中。

通九九四五 呂一B・ラー一八(九一四五)高通 相澤(太田)

20. 2. 19

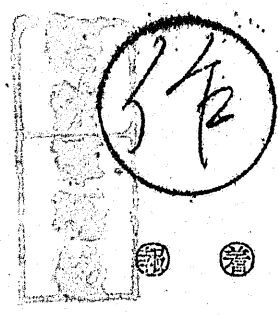
1436

二一九 受信一一〇六 譯了一二三〇 電〇九〇二一 作 概  
譯始一二〇五

至 急

總無線艦所用共通符號

父根戰團概報着信艦所



機密第一八一七一五番電

發 母島警備隊司令

戰團概報 (二月十八日)

一一五〇〇 一四〇度六〇分ニ敵大型一機探知警戒中ノ處一五三二

B 一七五 一四〇度方向北上三〇〇度ニ變針南下泊岩上空通

過後本島ニ侵入二四〇度ニテ北方ニ遁入投彈セズ

二 戰果被害ナシ

三 發射彈數 (一門平均殘彈數) 通常彈五〇〇 (一一六) 燒燬彈一 (三三)

通 一〇二七四 呂 一日々四 (B) 横須賀 深澤 (榛 澤)

20. 2. 20



考

作

二一九

受信〇五〇五

電〇九一六一

航作概本〇

東

通

各鎮・各警・各艦隊  
總無線艦所

機密第一八一八三四番電

海軍務局長 大海參一部長

宛 參謀長

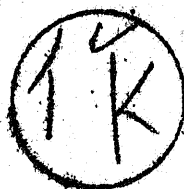
今次敵機動部隊内地來襲時ニ於ケル對空射擊ハ亂射ノ傾向極メテ大ナルト認メラルル處彈藥ノ節用ニ關シテハ既ニ各部ニ於テ充分留意セラレアルベキモ此ノ際更ニ之ガ效果的使用ニ關シ注意喚起方取計ハレ度。

通二四八一 天二〇ケ三

(小林)

二一八 受信二〇四四 譯了二一四〇 電〇八七四九 作 概

緊急



第五基地航空部隊戰鬥概報着信艦所



ハラオ第一航空基地

機密第一八一八四三番電

戰鬥概報

二月十八日F四〇延十三機來襲銃擊數回戰果被害ナシ 其ノ他視界  
内 飛翔大型機九機小型機延三十四。

通一〇Q二九 呂二B (五一二五K) 四通 小野 (雨 谷)

20 19

二一九 受信〇一三八  
譯始〇五五〇  
譯了〇六〇〇  
電〇八八九三  
作概〇



東通・阪通・横通・東京灣西航路部隊  
三海上護衛隊  
九〇三航空隊

通報 横鎮 機密第一八一九二七番電 二分ノ一二

一、敵機動部隊ハ一時南下離反スルモノ如シ

二、東航船團ノ行動ハ伊良湖迄トシ分散警泊セシムベシ

三、詳細ナル敵情ハ尙不明ニシテ近日中ニ再度來襲ノ算アリ各部ハ今後常

ニ艦載機ニ對スル對空態勢ヲモ整備シ特ニ機銃掃射對策及迅速ナル分散竝ニ避泊錨地ノ選定等ニ關シ萬全ヲ期スベシ。

通 一一〇〇一一五五九八 天一Bケ四 (B) 阪警

佐藤 (岩崎)  
館川

20. 2. 19

二一八 受信二三四〇〇 譯了二三四二 電〇八七六二 航作 概〇

緊急 木更津航空基地



● 神ノ池、燒津、厚木各航空基地  
● 聯合艦隊司令部・第五航空艦隊司令部 横 鎮

機密第一八二〇二四番電

第七基地航空部隊電令作 第四六號

關東航空隊司令及七二二空司令ハ厚木基地擔任部隊指揮官ノ協力ヲ得  
テ左ニ依リ厚木基地配備ノ櫻花實機ノ急速組立ヲ實施セシムベシ  
一、期日及組立機數二月二十三日迄一五機  
二、派遣櫻花整備員關東航空隊約一〇名第七二一航空隊約三〇名（分  
隊長以上ヲ含ム）

通一〇〇八〇 呂一Bケ四（B 木空 深澤（福田）

20. 9. 10



二一八 受信二二二五〇  
開始二三三一〇  
了二三二四 電〇八七六八  
航施作 本本機〇

緊急  
父島根  
木更津航空基地



大 海・軍務局・聯合艦隊口・横領

機密第一八二〇三九番賣

發 三AF參謀長

賞機密第一七二〇三八番電題

戰況ニ依リ機宜實施ノコトニ取計ハレ度。

連一〇〇八一 呂一五ラ一八  
木空 奥山(福田)

10. 2. 19



緊急

二一九  
受信開始 〇〇一〇一五

譯了 〇二〇〇

電

〇〇〇  
八八八  
八八八  
二二二  
五二六

兵航作  
備本〇

支那方面艦隊司令部。五各航空艦隊司令部。高警

通。梅。領。佐。關。南西諸島空

機密第一八二〇五番電 三分二二二三

通報 大海參一部 軍務司 航本總務部 人事司 航空技術廠

一 A F 參謀長 九州空司令

聯合艦隊電令第五二四號

支那方面艦隊司令長官第五航空艦隊司令長官第三航空艦隊司令長官及高

雄警備府司令長官ハ夫々左記ニ依リ速ニ櫻花整備班ヲ編成配備スベシ

一班編成標準ハ最少員數ヲ示ス一班長准士官以上一名班員高警四警整

〇高兵二警兵六無章兵八

迫 一〇〇 一〇八 一〇九 一〇一 一〇二 一〇三 一〇四 一〇五 一〇六 一〇七 一〇八 一〇九 一〇一〇 一〇一一 一〇一二 一〇一三 一〇一四 一〇一五 一〇一六 一〇一七 一〇一八 一〇一九 一〇二〇 一〇二一 一〇二二 一〇二三 一〇二四 一〇二五 一〇二六 一〇二七 一〇二八 一〇二九 一〇三〇 一〇三一 一〇三二 一〇三三 一〇三四 一〇三五 一〇三六 一〇三七 一〇三八 一〇三九 一〇四〇 一〇四一 一〇四二 一〇四三 一〇四四 一〇四五 一〇四六 一〇四七 一〇四八 一〇四九 一〇五〇 一〇五一 一〇五二 一〇五三 一〇五四 一〇五五 一〇五六 一〇五七 一〇五八 一〇五九 一〇六〇 一〇六一 一〇六二 一〇六三 一〇六四 一〇六五 一〇六六 一〇六七 一〇六八 一〇六九 一〇七〇 一〇七一 一〇七二 一〇七三 一〇七四 一〇七五 一〇七六 一〇七七 一〇七八 一〇七九 一〇八〇 一〇八一 一〇八二 一〇八三 一〇八四 一〇八五 一〇八六 一〇八七 一〇八八 一〇八九 一〇九〇 一〇九一 一〇九二 一〇九三 一〇九四 一〇九五 一〇九六 一〇九七 一〇九八 一〇九九 一〇一〇〇

22. 2. 19

右所要員ハ麾下美保航空隊員（上海ハ二十日編成豫定中支空トス）  
以テ充當スルモノトス

二 配備基地

左ノ基地毎ニ一個班ヲ配備（括弧内配備基地）中支空（上海）九州航  
空隊（宇佐、鹿屋、宮崎）南西諸島空（沖繩）關東空（八丈、厚木、  
神ノ池）臺灣空（新竹、高雄）

三 櫻花整備班ハ櫻花ノ整備取扱ニ任ズルト共ニ櫻花作戦ニ必要ナル諸作  
業ヲ實施スルモノトス

右櫻花整備班ニ對シテハ所要ニ應ジ講習ヲ實施ス。

作

二 一九

受信始 〇〇五四〇六

譯了 〇六三〇 電 〇八九〇九

作

概

●

R P 方面防備部隊戰鬪概報着信艦所

●

八九 警備隊

機密第一八二〇七番電

R P 防備部隊戰鬪概報第五號

一、R P 十八日一〇二〇 P 四 U 二機偵察 一二五〇 P 四 U 八 P 泊ビア?

リ「リリマン」各橋梁爆撃東方ニ擊退 戰果被害ナシ

三、敵戰鬪機ノ來襲ハ近來稀ナル現象ナリ。

通一〇一五七

呂ニブラーニ (四九四五 K) 八通放 黒田 (金森)



人

二一九  
緊急

受信〇〇二四八  
譯始〇二四八

譯了〇三一九

電〇八八六三

航作

概〇

● 松山航空基地

● 吳鎮。第三航空艦隊



● 第五航空艦隊

機密第一八二二一五番電

明日左記ニ依リ邀撃哨戒實施

一〇六三〇ヨリ紫電二八 四國西部哨戒

ニ紫電及紫電改三五機 (大部分増槽ナシ) ハ敵襲ノ際發進後低空ニテ

狀況ニ依リ三原) 上空ニ至リ集合ノ上戦闘ニ加入敵襲ナキ場

合〇八〇〇ヨリ右訓練ヲ實施。

通一〇一七七

於十四 (三六三〇KC) 松山空基地 山本 (雨谷)

急

作

至  
魚

二一九  
受信一四一八  
譯始一六四五  
譯了二〇三〇  
電〇九二四六  
作  
概

著

南東方面部隊戦闘概報着信艦所

機密第一九〇六四五番電

20. 2. 20

R N 方面部隊戦闘概報第一四〇號 (二月十八日)

一 R O 〇七一二一一三四七常時 F 四 U 計六機一二五〇一匹〇二 F 四

U 六機西方ヨリ來襲銃爆墜〇五〇四一〇七一九 B I 三四 一機偵察

〇七五四 P B 二 Y 一機〇〇五六一〇九一〇 A I 二〇 一機小型機一

機南東進〇九一一 P B 二 Y 一機一二四八 B I 三四 一機二三〇八中

型機一機北西進

二 R P 一〇二〇 F 四 U 二機一二五〇 F 四 U 八機「ボビレ」型リリマン

各銃聲當方面敵戦闘機ノ來襲ハ近來稀ナル現象ナリ

三 戦果被奪無シ。

通一〇三八八 呂二 B ラ十一 (八九九 F KC) 四通放目黒 (松山)



二一九  
至急

受信 〇〇九八四九

譯了 一〇〇〇 電 〇九六二

作 概



内南洋方面部隊戦闘概報着信艦所

機密第一九〇六五八番電

内南洋方面部隊戦闘概報(一八日)

一一〇〇B一二九 一七機一二三〇同一九機共ニPBA方面ヨリ來襲

春島基地ニ投彈 戦果地上砲火ニ依リ一機撃墜被害第一基地へ第二基

地へ滑走路誘導路八三(四二)家屋爆碎二〇(四四)零戦地上大

破一小破一野戦高射砲ヲ直撃戦死九戦傷二五。

通一〇二二八

呂一Bケ四(一七九九九KG) 進放

田村(機心)

20. 2. 20

作

二一九

受信一二二八  
譯始一二五一

譯才一三一〇

電〇九〇一一  
作機〇

潛艦

作戰緊急

共符

作

第一潜水部隊

東京通信隊、聯合通信隊、聯合艦隊口、佐鎮、高警、沖根、  
大本營海軍部、五各航空艦隊口、航空艦隊口

機密第一九〇九一五番電

先遣部隊電令作第三五號

呂五五潜水艦及呂一〇九潜水艦ハ敵機動部隊ニ備ヘツツ岐宿島南東  
方海面ニ進出爾後夫々舞鶴（入渠作業ナケレバ吳）及佐世保ニ歸投  
スベシ。

通一〇三〇九

呂一〇ケ四

吳通 菅原（小林）





二一九  
受信一〇二一三〇  
了 一〇三五  
電 〇八九八〇  
作 概 〇

緊 急

母 島 警 備 隊



父島根 戰鬥概報着信艦所

機密第一九〇九二〇番電

母島ノ二二〇度( )方向ノ敵空母ヨリグラマン戦闘機十二 空中

哨戒ヲ兼テ當方面ニ銃爆撃ヲ企圖〇九〇〇來襲セリ  
大型機依然晝夜哨戒ヲ斷續的ニ實施シツツアリ 天候快晴。

第一〇二六三 第十四 (一〇二〇〇) 父 達 中川 一 雨 谷

20. 2. 20



二一九

受信一三三八  
譯始一二〇〇

譯了一三四〇

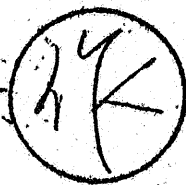
電〇九〇六四 作

概

作戰緊急



ナモツク見張所



聯合艦隊口・四艦隊口・四一警

四氣象隊・四艦隊水上基地隊

機密第一九一〇一五番電

ナクテツク島特設見張所戦闘概報

〇九〇八敵機中型二北西ヨリ飛來(高度一五〇〇)本島銃爆撃ヲ行フ

(六番程度)我敵機ト交戦〇九一五之ヲ北西ニ撃退ス

一 戦果調査中

二 人員兵器被害ナシ

三 發射彈數十三耗機銃(防空隊)四六發。

通一〇二八八 天B(一七六三〇〇)四通 村 松(吉田)

20. 2. 20



二一九

受信一四三〇二  
譯始一四〇〇二

譯了一四四〇  
電〇九〇九六

航作機本〇

至 急

佐

通



著 五 航 空 艦 隊 中

大海參一部・聯合艦隊中・沖根  
海上護衛總中。第九五一航空隊

機密第一九一〇三一番電

通報 第三二軍司令部

南西諸島中南部ニ對スル敵飛行偵察哨戒益激化ス

右哨戒機ニ依リ味方船團輸送機等ノ被害モ亦續出シツツアル現狀ニ

鑑ミ同方面ニ對スル戰鬥機ノ配備ニ關シ御配慮ヲ得度。

通一〇三四〇・呂一B (五二〇〇KC) 佐世保 大田原 (吉田)

20. 2. 20

人

二二〇 受信 〇〇八〇〇二 譯了 一二三〇 電 〇九五〇二 航作 概本〇

至 急



九三一空(舟山島航空基地)・九三一空(佐田航空基地)

一〇二戰隊V・海上護衛隊部隊各口・一護衛艦隊I・九〇一空

機密第一九一二三五番通

發 第九三一航空隊司令

電令作第一六號

一、電令作第一五號ニ依ル聯合對灣哨戒(舟山島基地)ノ作戰第一日ヲ

二月二十一日ニ改ム

二、本職明二十日艦攻ニ搭乘舟山島基地ニ進出部下部隊ヲ統率スルト共

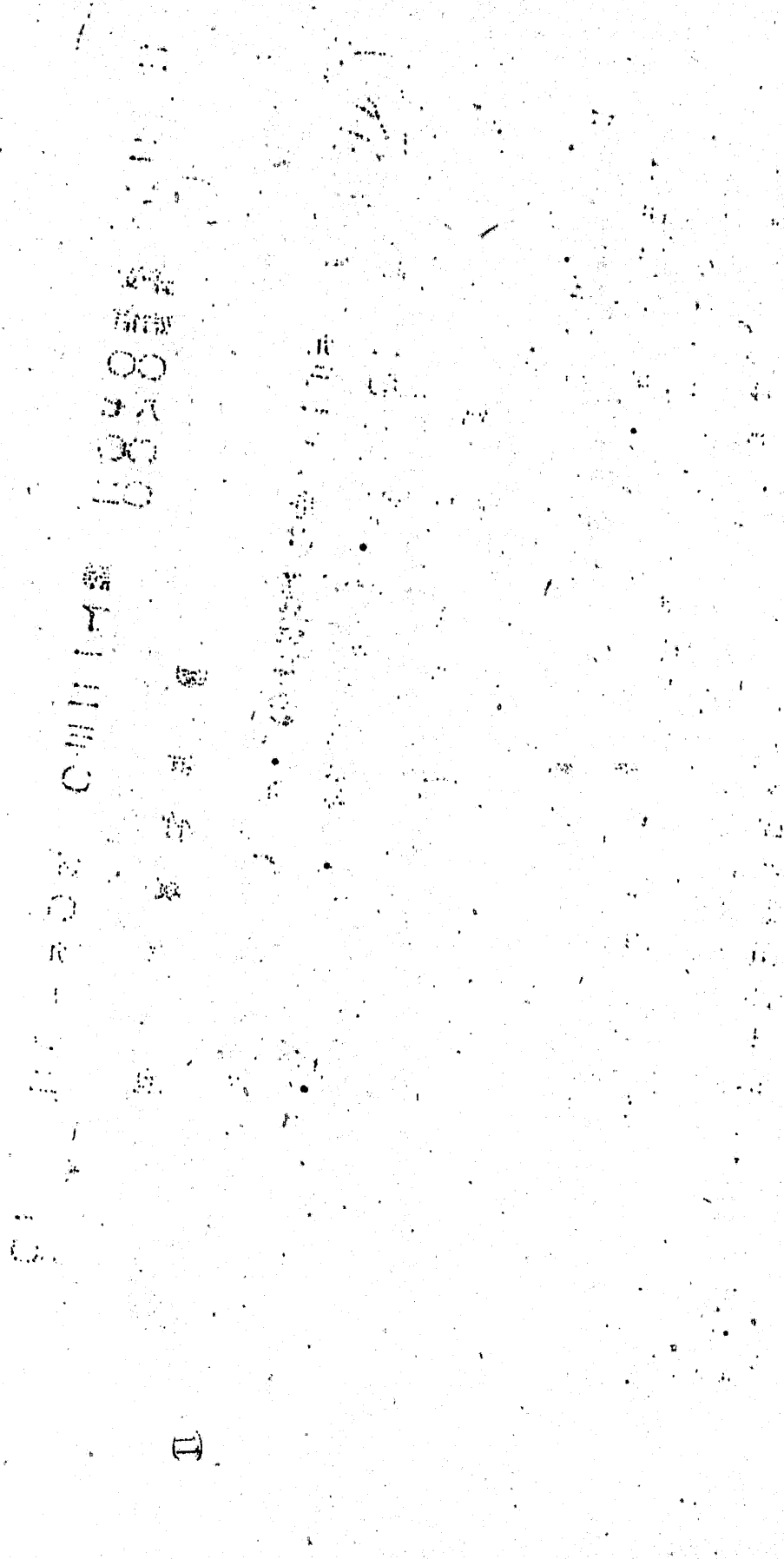
ニAS一作戦要務ヲ掌理セントス

通一〇七八三 呂一Bヶ四(四七〇五艦) 高道 露山(本部) (一)

20. 2. 21



三、新竹基地派遣隊指揮官、二十日舟山島進出ノ隘攻ニ機ヲ本職ノ新竹  
基地歸投ノ爲ニ二十二日〇八〇〇迄舟山島基地ニ俾機セシムベシ。





Handwritten mark or signature.

二一九

受信一六四〇〇  
譯始一六四〇〇

譯了一六五四  
電〇九一二五

航概〇  
本概〇

作戰緊急

九〇三空派遣隊



九〇三空



機密第一九一三一〇番電

○八五七ヨリ一一一五迄グラマン約七〇機ノ空襲アリ零式水偵二機  
炎上沈没現數零其ノ他ノ戦果被害調査中。

通一〇四五六才十四(B)横通

山本(鈴三)

20. 2. 20



作戰緊急

二一九

受信二二三〇五

譯了二二三〇五

電〇九三四九

作機〇  
航本

九〇一航空隊

- 九〇一空(三亞空基地) (淡水空基地) (香港空基地) (馬公空)
- 南號作戰部隊。九三六空(カムラン空基地) (西貢空基地)

20. 2. 20

機密第一九一三五五番電

十五日(ウルシー)ヲ出撃セル敵機動部隊ノ行動不明及(カムラン灣)方面敵潛艇集結ニ氣象隊通信情況ニ鑑ミ敵艦艇ノ策動ニ對シ警戒ノ要アリ各隊ハ所定夜間索敵ノ外特ニ夜間對潛哨戒ヲ強化ノ上敵潛艇滅ヲ計ルト共ニ敵空襲ノ際被害局限ニ關シ推算ヲカラシムベシ。

通一〇六二五 於一四( B ) ( G F F ) (佐藤)

名 50

分



二一九

受信 一五〇五 譯了一五四〇 電〇九一一一

作概 潜艦航本

先遣部隊 戸

共

符

鹿屋航空基地

機密第九一四〇二番電

發 呂五十潜水艦長

十九日一二四五地點へト33ニ於テ敵味方不明ノ陸上機又ハ艦載機一機ノ爆撃ヲ受ク被害ナシ。

通一〇四三〇

於十四(五二九五C)六艦隊放

安彦(酒卷)

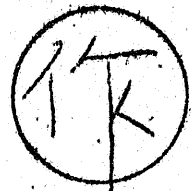
20. 2. 20

手



二一九 受信一五四〇五 譯了一五五五 電〇九〇九九 航作 本概〇

緊急



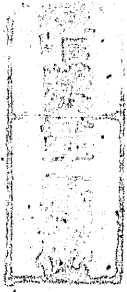
第二七航空戦隊



第三航空艦隊



大海参一部・聯合艦隊。第五航空艦隊。父根。横領



機密第一九一四〇七番電

敵船團ニ對シ本日以後陸攻隊ヲ以テ連續薄暮夜間攻撃ヲ明日以後小型機ヲ以テスル特攻攻撃ヲ實施ス。

通一〇四二五 呂一Bラ十八(七二六〇KC) 蠶ヶ谷 高濱(森田)

20. 2. 20



受信 一七七一五  
譚始 一七四一五  
譚了 一八五〇  
電 〇九六四八  
作機

備 隊

二二根 戰闘概報着信艦所



20. 2. 21

戰闘概報 二月十九日  
一〇四三七 P B Y 一機東方ヨリ信入 灣内上空 旋回 〇六〇三 西方ニ去ル  
三〇六二七 不明機 機音受ワタ見張ノ北方ニ聞キ 東方ニ去ル  
三、一〇一〇 B 二四 一機東方ヨリ信入 灣内西方ヲ旋回 一〇二五 兩西ニ去ル

通 一〇二九 天二 B ケ三 (一八三六七五 KC) 一一通 甲中 (飯田)

98

二二〇 受信 〇〇一三五六 了 〇三〇〇 電 〇九三三三 作 概

作

父島根戰鬪概報着信艦所

機密第一九一四一八番電

父島根據地隊戰鬪概報（二月十九日）

一十八日二一〇八ヨリ十九日〇五一五ノ間ニ敵大型一機一二機宛八次

ニ亘リ來襲飛行場周邊陸上及海面竝ニ西島東島附近海面ニ時限爆彈

ヲ含ム小型爆彈各數個投下

ニ戰果 ナシ

三被害 十二糶高角砲受信機一破損

通一〇七〇三 呂一Bケ四（五一〇〇K）父通 小野（小川）

20. 2. 20



至急

二一九

受信一七五〇〇

譯了一八三〇

電〇九二三八九

作 概

?

一五六海防艦

海上護衛總口

機密第一九一四二九番電

二分ノ一、二

發 父時根司令官

通報 横嶺參謀長

敵今次ノ硫黄島作戰竝ニ内地方面大規模動作戦ノ寸前危局最モ迫レル間  
 ニ於テ劣速ノ輸送船護衛至嚴ナル敵機直衛哨戒網ヲ潜リ以後危期ニ會  
 ツツヨク四回一輸送船五隻ノ負傷者二五八名緊急輸送ニ成功又二月  
 十五日命ニ依リ父島發内地方面ニ進退ノ途次十七日午前敵艦上機ノ攻  
 撃ヲ受クルヤ死傷者多數ヲ出シ船体者亦相當ノ損傷ヲ蒙リ右全對空機  
 通一〇四〇六・一〇四六〇天二Bヶ六(B)偵偵資 川崎・納富(敵出)

20. 2. 90

1461

銃機能喪失スルニ良ク〇五三〇迄勇戦敢闘敵ヲ撃退シ損傷補修ニ努メツ  
ツ艇ノ保全ニ成功遂ニ尾鷲港ニ到達シ得タルハ大ニ可ナリ。

（東通註、横通ツラ濟）





19

二一九 受信一六二五 譯了一七二〇 電〇九一二三 作區  
譯始一七〇〇

作戰緊急



第七基地航空部隊  
第一聯合航空隊 九〇三空

横 鎮・聯合隊口



機密第一九一五一二番電

着信者 横須賀鎮守府麾下各航空基地

七FGB電令作第五三號

基地航空部隊捷三號作戰發動ニ依リ指揮下ニ編入セラレタル部隊ニ  
對シテ指揮ヲ解ク。

通一〇四五二 呂一B (B) 木更津 田原 (吉) 田

20. 2. 20